

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	基礎演技Ⅱ	
開設学科	声優・演劇科		コース名			開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	70時間
単位数	2単位		授業形態	実習			
教科書/教材	「ベーシックテキスト」「はなしことばの練習帳1」、その他、必要に応じてプリントを配布。						
担当教員情報							
担当教員	守屋一・長谷川浩司・尾花宏行			実務経験の有無・職種	有・ＴＶ番組プロデューサー、俳優、演出家		
学習目的							
この科目を受講する学生は基礎演技Ⅰで理解した内容を発展させ、1年次の集大成科目である「舞台総合実習」に繋がるように、声優・俳優の基本素養を構築し、自らの表現の幅を広げ、どのような演目にも演技者としての自覚を持ち、取り組めるように、繰り返し「呼吸」「発声」「トレーニング」を行い基礎力の向上や柔軟な対応力を育成できる表現者になる事を目的としている。							
到達目標							
学生が、演劇表現を行う者つまり役者の基礎力を高めることを最重要視している。言葉で「伝える」ことの難しさを再認識し、基礎力をもって「わかりやすく伝える」ことを意識し、実践できるようになること。感情を開放し、コントロールしながら声と身体を使って、表現ができるようになること。基礎演技Ⅰで理解、達成したことを踏まえながら具体的な目標として「成果発表」を念頭に置き1つの作品を複数の学生で試行錯誤して作り上げ発表することを目標としている。							
教育方法等							
授業概要	基礎演技Ⅰから引き続き「肉体トレーニング」「呼吸」「発声」を繰り返し、基礎体力の上昇や基礎能力を向上させ、発表に向けて備える。様々な演技の表現方法を学び、自ら考察を重ね、共演している学生間のコミュニケーションを確立させる。最終回の成果発表を通して、各自の今後の課題を見つけ、役者としての一歩を踏み出すための足掛かりにする。						
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーション・協働性を重視する。役者としての常識マナーを身につけるために原則として遅刻や欠席、見学は認めない。集中力を欠かさず、向上心と積極性を持って授業に参加することを求める。グループワークでの発表が多いので、協調性を持ち、授業に参加できるようにコミュニケーションをとり、出された課題は各自クリアをするために日々研究を重ね、授業に臨むこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	成果発表 （口頭・実技）	25%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	25%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～10回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	基礎訓練／演劇メソッド（1）		コミュニケーション感覚を伴った行動から心の動きを理解する。				
2回	基礎訓練／演劇メソッド（2）		伝えることの大切さを学び、理解する。台詞を人に伝えることが出来るようになる。				
3回	基礎訓練／演劇メソッド（3）		感情表現とスムーズに繋がる身体の状態やテンポと間を理解し、表現できる。				
4回	基礎訓練／課題演技の稽古（1）		自ら進んで役作りの研究をすることができる。				
5回	基礎訓練／課題演技の稽古（2）		共演者と話し合いながらシーン作りが出来る。				
6回	基礎訓練／課題演技の稽古（3）		色々な演じ方を工夫してみることが出来る。相手のセリフを聞くことが出来る。				
7回	基礎訓練／課題演技の稽古（4）		それぞれに稽古したシーンをつなげて全体の通し稽古が出来る。作品を客観的に理解する。				
8回	基礎訓練／課題演技の稽古（5）		音楽を取り入れ、ステージ上にて世界観を表現することが出来る。				
9回	基礎訓練／課題演技の稽古（6）		本番を想定し、リハーサルを行うことが出来る。				
10回	まとめ・成果発表		課題演技の成果をステージで発表することができる。				